

東洋のヤンキーたちー台湾対インドネシア

第3クオーター

Bd: 34 DLR: E VUL: N/S	NORTH ♠ 653 ♥ A2 ♦ 10952 ♣ A943	EAST ♠ J842 ♥ 654 ♦ A864 ♣ K6
WEST ♠ Q97 ♥ QJ10 ♦ J3 ♣ J10852	SOUTH ♠ AK10 ♥ K9873 ♦ KQ7 ♣ Q7	

S(ウー)が3NTをプレイし、♥Qのリード。テンポが間に合うのでゲスを当てればメイクだったが結果は1ダウン。一方のテーブルではN(コルカー)が3NTをプレイし、スペードリード。ハートをエスタブリッシュし、♦Aを追い出して8トリックを開発したが、クオがスペードをキャッシュしたのでダミーの♣Qをシングルトンにすることを迫られる。クオは♣Kでエグジット、コルカーは♦Jのゲスを迫られた。ハートのウィナーをまだキャッシュしておらず、クラブをディスクードしているため、メイクが沢山ダウンかの分かれ道であった。♦10を流すプレイを選択して4ダウン。台湾が7IMPを獲得、61-51とリードを広げる。

Bd: 37 DLR: N VUL: N/S	NORTH ♥ J9732 ♠ 6 ♦ KJ7 ♣ Q965	EAST ♠ KQ105 ♥ J93 ♦ 864 ♣ 873
WEST ♠ 4 ♥ AKQ42 ♦ Q93 ♣ AKJ4	SOUTH ♠ A86 ♥ 10875 ♦ A1052 ♣ 102	

37番ボードの時点でスコアは61-55。W(マノッポ)がストロングクラブでオープンし、3NTをプレイ。クラブリードをJで勝ち、♠KをAに負けた。ディフェンダーはダイヤモンドをキャッシュしなかったので3メイク、プラス400。

クオ・ウーは似のみをビッドして4♥をプレイ。スペードのローカードのリードに10。A。Sは♦5にシフトし、J、ダイヤモンドと続き1ダウン、マイナス50。インドネシアが10IMPを取り、65-61と逆転。

Bd: 38 DLR: E VUL: E/W	NORTH ♠ Q987 ♥ AJ1094 ♦ --- ♣ AJ73	EAST ♠ 2 ♥ Q873 ♦ KJ763 ♣ Q106
WEST ♠ 6543 ♥ --- ♦ A984 ♣ K9842	SOUTH ♠ AKJ10 ♥ K652 ♦ Q1052 ♣ 5	

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
CH Wu	Colker	Kuo	Kokish
Pass	1♥	Pass	1♦
Pass	4♦(2)	Pass	4♥
Pass	5♣	Pass	5♥
All Pass			

(1)トランプ4枚、15-17バランスの可能性あり (2)スプリンター

NSの6♥は良いコントラクトだが、どうビッドするか。他のシステムを採用していればSのクラブが短いことを発見できるかもしれないが、それでもスラムまでビッドするのは難しい。他のテーブルのNSはスラムをビッドしてダウンしたが、おそらくSが3♥とジャンプしたのではない。コルカーは慎重なプレイで5メイク、スラムに関心すら示さなかったタイも4♥5メイク。

ビッドだけは賑やかだったがあまり問題のないハンド。双方ともNSが4♥をプレイ。

双方のエとも6♥ならダウンしたスペードリード。♥Kで勝った時にラストだけがスペードのウィナーをキャッシュしたのでインドネシアが1IMPを取る。66-61。

Bd: 39 DLR: S VUL: Both	NORTH ♠ A9 ♥ 65432 ♦ AQJ763 ♣ ---	EAST ♠ QJ8732 ♥ 8 ♦ K109 ♣ A105
WEST ♠ K5 ♥ J107 ♦ 85 ♣ QJ9876	SOUTH ♠ 1064 ♥ AKQ9 ♦ 42 ♣ K432	

コキッシュは3♣でオープンしなかったために、ビッドが1NT-4♦(テキサス)と回り、4レベルでのゲスを迫られた。パスをして結果はマイナス480(コルカーはクラブをリードしてからダイヤモンドにシフトしたが、ディクレアラーはクラブをエスタブリッシュしてダミーのシングルtonsスペードをディスクードした)。一方のテーブルではタイ・ウーがオークションに参加してラスト・マノッポが5♥まで競り、ダブルがかかる。Eのハンドが見えていないのでタイは♠Aをキャッシュしなかったが、その結果ディクレアラーはクラブをエスタブリッシュしてスペードをディスクード。プラス750はインドネシアに13IMP、73-62。

Bd: 43 DLR: S VUL: None	NORTH ♠ AQ4 ♥ 85 ♦ J973 ♣ AK64	EAST ♠ J ♥ KJ109742 ♦ Q542 ♣ J
WEST ♠ K8 ♥ AQ3 ♦ AK10 ♣ 98732	SOUTH ♠ 10976532 ♥ 6 ♦ 86 ♣ Q105	

NSのEが2♠をプレイし、リードはダイヤモンドのローカード。ラストはゲスを当てたが、クオは♦Aで勝ってから♠A、♠Qと続け、ダイヤモンドリターンが来る。これをラフ、♠Jをキャッシュしてから♣QをKに負けた。Nはトランプの3巡目にダイヤモンドをディスクードしたので、ハートのローカードをプレイ。コキッシュがこれをダックすればコントラクトはダウンしたが、Aを勝ってマスターランプをキャッシュしたので(疲れているにしても事態をますます悪化させるプレイ)、コルカーは「遊んでいた」ダイヤモンドをディスクードせざるを得なくなる。クオはハートリターンをハンドで勝ち、♠10でAを追い出す。コルカーは♣2でエグジットしたが、ここでクオはJをプレイして1ダウン。カードをプレイした瞬間に自分の間違いに気づいていた。マイナス50。インドネシアが4IMPを勝って第3ラウンドを28-7で制す。残り16ボード、台湾が81-79とリード。

Bd: 44 DLR: W VUL: N/S	NORTH ♠ AJ109 ♥ 964 ♦ 863 ♣ J32	EAST ♠ 5 ♥ KQ10753 ♦ J2 ♣ K874
WEST ♠ Q874 ♥ 2 ♦ Q1074 ♣ A1095	SOUTH ♠ K632 ♥ AJ8 ♦ AK95 ♣ Q6	

ラストがサードハンドでマルチ2♦オープン、コントラクトはウーの2NT。一方クオは3♥オープン、コントラクトはコキッシュの3NT。ハートのリードで♥Qがホールドするとクオは♦2にシフト、10の勝ち。ウーはダイヤモンドで安全にエグジットできるので3NTは1ダウン、マイナス50。ウーも8トリックしか取れなかったがプラス120。台湾の6IMP、68-73。

Bd: 45 DLR: N VUL: Both	NORTH ♥ KQ ♠ 108752 ♦ 1073 ♣ 842	EAST ♠ 9532 ♥ J6 ♦ Q84 ♣ Q1076
WEST ♠ A ♥ AK4 ♦ AKJ2 ♣ AJ953	SOUTH ♠ J108764 ♥ Q93 ♦ 965 ♣ K	

双方のディクレアラーともに13トリックを勝ち、プラス1390とプラス640。台湾が13IMPを獲得して81-73。そして...

Bd: 47 DLR: S VUL: N/S	NORTH ♠ K10 ♥ J73 ♦ 10884 ♣ AK92	EAST ♠ AQJ542 ♥ Q4 ♦ A ♣ J873
WEST ♠ 9 ♥ K1065 ♦ QJ973 ♣ Q106	SOUTH ♠ 8763 ♥ A982 ♦ K52 ♣ 54	

ラスト・マノッポは6♣、タイ・ウーは4♣をプレイし、双方ともに12トリックを取った。12トリックを取る方法はいくつか考えられる。最も簡単なのは(ダイヤモンドリードの後)Sでクラブをラフし、♠Kをキャッシュ、ハートのハイカードを3回プレイする方法である。ハートの3-3ブレイク、あるいはハートをラフするプレイヤーがトランプを3枚持ち、クラブは5枚以下であることを期待する(さもないとクラブの4巡目でトランプがフロムする)。プラス980対480でインドネシアが11IMPを取り、102-83とリードを広げる。オープンルームのラストボードであり、インドネシアに勝利をもたらしたボードでもあった。

第4クオーター

Bd: 49 DLR: N VUL: None	NORTH ♠ 10962 ♥ AKJ64 ♦ KQ2 ♣ 6	EAST ♠ 54 ♥ Q1092 ♦ 985 ♣ K743
WEST ♠ KJ87 ♥ 3 ♦ AJ76 ♣ A1098	SOUTH ♠ AQ3 ♥ 875 ♦ 1043 ♣ QJ52	

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
SR Wu	Lasut	Tai	Manoppo
2♣	2♥(1)	Pass	Pass
DBL	Pass	3♣	Pass
Pass	DBL	All Pass	

ウーの3♥は3ダウン、マイナス150だったがノンダブル。タイは3♣ダブル2ダウンでマイナス300。インドネシアが10IMPを取り、再び89-81と逆転。

Bd: 56 DLR: W VUL: None	NORTH ♠ A109762 ♥ 8 ♦ A83 ♣ K102	EAST ♠ Q54 ♥ 73 ♦ KQJ6 ♣ Q953
WEST ♠ J3 ♥ J1094 ♦ 1095 ♣ 8764	SOUTH ♠ K8 ♥ AKQ652 ♦ 742 ♣ AJ	

台湾が決勝進出を決めてもおかしくなかったのが58番ボード。

Bd: 58 DLR: E VUL: Both	NORTH ♠ 84 ♥ AQ7 ♦ QJ753 ♣ A104	EAST ♠ KQJ97653 ♥ --- ♦ 842 ♣ J3
WEST ♠ 102 ♥ 8654 ♦ A1096 ♣ K97	SOUTH ♠ A ♥ KQJ1032 ♦ K ♣ Q8652	

どうすれば1NTでオークションが終わるか定かたではないが、わかっているのは木曜日夜11時にマノッポ・ラストがプラス90のスコアを残したことだけである。タイ・ウーはいたって通常のコントラクトである3NTをプレイし、マイナス100となった。インドネシアに5IMP、107-92。ラスト・マノッポの6♣を別にすれば、インドネシアの決勝進出を決めたのはこのボードだったかもしれない。オークション経過はおそらく1♣(ポーリッシュ・クラブ)-1♣-Pass=Pass-1NT(ストロング)-オールパスと進んだのではない。EもWもマキシムを持っているのだが、いやはや。

Bd: 60 DLR: W VUL: N/S	NORTH ♠ AK6432 ♥ Q87 ♦ A82 ♣ 3	EAST ♠ J98 ♥ K1093 ♦ 1064 ♣ J106
WEST ♠ Q107 ♥ A64 ♦ KQJ3 ♣ AKQ	SOUTH ♠ 5 ♥ J52 ♦ 987 ♣ 987542	

ダイヤモンドのポジションが良いので3NTも5♦もメイクしそうだ、プレイしてみなければわからない。ラストは3NTでプレイを間違えて1ダウン、クオはスペードリードで5♦をメイク。台湾に12IMP、104-107。

Bd: 63 DLR: S VUL: N/S	NORTH ♠ AK865 ♥ AQJ87 ♦ 6 ♣ AJ	EAST ♠ QJ9743 ♥ K98 ♦ K42 ♣ 2
WEST ♠ 2 ♥ 106 ♦ 9743 ♣ KQ9865	SOUTH ♠ 10 ♥ 53 ♦ AQJ1052 ♣ 10743	

最終ボードでは双方のNが1NTをダウンし、インドネシアが最終ラウンドを28-23で勝った。最終スコアは107-104だったが、これは、イギリス対久富チームの合計より115IMPも少ない。